



やまだ たかこ
山田貴子

議員



橘逸勢を活かしたまちづくり

問 橘逸勢（たちばなのはやなり）の終焉地として、市民に広く認知してもらおう考えはないか。

答 本市ゆかりの偉人であり、今後「文化財保存活用地域計画」に定めているとおり、市民団体の活動を支援するとともに、SNSや情報誌を活用したPRなど、効果的な情報発信に努めていきたい。

問 橘逸勢についての学習をする機会を全小学校に与えているか。

答 本年度新たに社会科のデジタル版の副読本を作成している。これらを活用して、周南たちばな学園内の学校だけでなく、他の学校でも、橘逸勢供養塔をはじめ、市内の文化財や資源について、手軽に、より深く学べるよう、取組んでいきたい。



五輪の供養塔（上山梨の用福寺）

問 橘逸勢の供養祭に合わせて月見の里学遊館など市民を対象に書のまち袋井としてのコンクールをしようか。

答 今後は、書初め大会などの企画に際し、橘逸勢ゆかりの地区にある月見の里学遊館を中心に、提案の供養祭などと絡めた活動の実施に向け、地域の皆さまをはじめ、月見の里学遊館の指定管理者や文化協会と協議しながら取組んでいきたい。



たけむら まゆみ
竹村眞弓

議員



性と生殖に関する健康と権利

問 市職員の生理休暇取得状況と取得促進への取組は。

答 令和5年は、7人の職員が合わせて31日取得。「工夫休暇」と通称名を変えて取得者は増えている。掲示板で確認できるよう職員に周知し、取得しやすい環境を整えている。適切に取得、女性の力を引出し、業務を推進していきたい。

問 本市の性教育内容と包括的性教育への取組は。

答 文科省通達のとおり「はじめての規定」がある中で、できる範囲の指導をしている。子どもが、性犯罪の加害者にも被害者にもならないことを第一に考えて進めている。緊急避妊薬については、その都度タイムリーに専門家による講義をしている。今後も袋井市独自の指導を進めていきたい。



学校トイレに生理用品設置のイメージ

問 生理の貧困への認識とトイレにナプキン設置の取組は。

答 経済的理由、女性の心身の健康状態や日常生活、全ての人の健康と福祉も含まれていると認識している。生活困窮にない家庭は、ご自身で用意して貰うことが第一である。学校については保健室を通じて子どもと対話し、悩みに寄り添うことや自立への対応が必要と考える。トイレには置かず、保健室に置く対応を今後も続けていきたい。

議案採決の流れ

